

## IRR-BGE形 誘導形選択地絡継電器

Type IRR-BGE Induction Type Duo Directional Overcurrent Ground Relay

本器は、並行二回線送電線の地絡保護に使用される選択地絡継電器で、二回線の中、いずれかに地絡故障が発生すれば、故障回線と健全回線の変流器二次、あるいは三次の交差回路に流れる零相電流と接地変圧器に生ずる零相電圧を利用して故障回線を選択し断するものです。

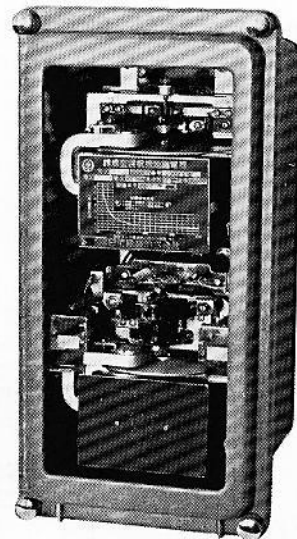
### 構造と動作

主要部は限時過電流要素と方向要素の二要素からなっており、いずれも誘導円板形の構造です。

上部の方向要素は、電流コイルと電圧コイルのある電力方向継電器で、地絡故障時において兩回線変流器の交差接続された二次、あるいは三次の零相電流と接地変圧器の二次オープンデルタ回路の電圧を入力とし、誘導円板を回転させるものです。

この誘導円板は電流の方向によって、その回転方向を正逆反転するため、地絡方向を検出することができます。すなわち、二重動作式接点の機構とし、兩回線の不平衡電流によって左右いずれかの接点を閉路します。本要素はこの方向選択のみを使命とするため、感度は非常に鋭敏に調整してあります。

限時過電流要素は、隈取コイル式誘導円板形の構



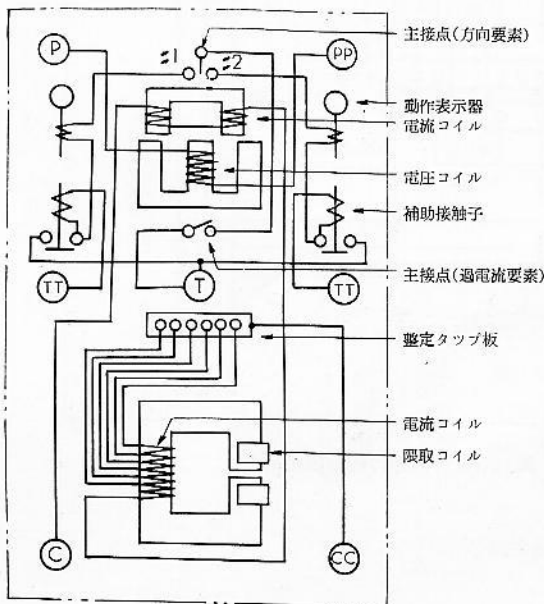
第1図 IRR-BGE形 誘導形選択地絡継電器 (埋込形)

造とし、円板と可動接点の間に一段の減速歯車機構を設けた小勢力形の地絡過電流継電器で、安定した反限時性定限時特性を有しています。

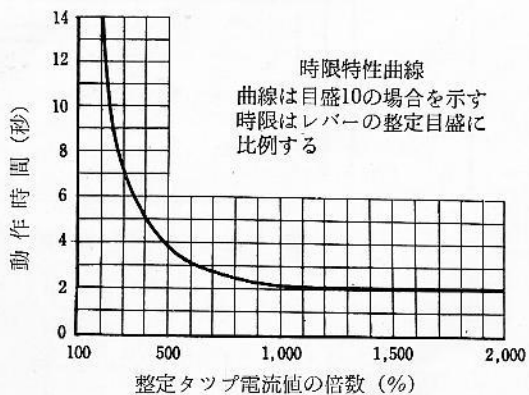
接点回路には補助接触子と動作表示器を備えており、直接しゃ断器を引はず構造としています。

### 動作電流値の整定

動作電流値の整定はタップ板にて行ないます。広範囲の電流整定ができるよう、0.3—0.6—1.0—1.5—2.0—2.5 A の6タップを設けています。それぞれの系統に合わせて所要のタップ値にプラグをそう入して下さい。



第2図 内部接続図(裏面)



第3図 時 限 特 性

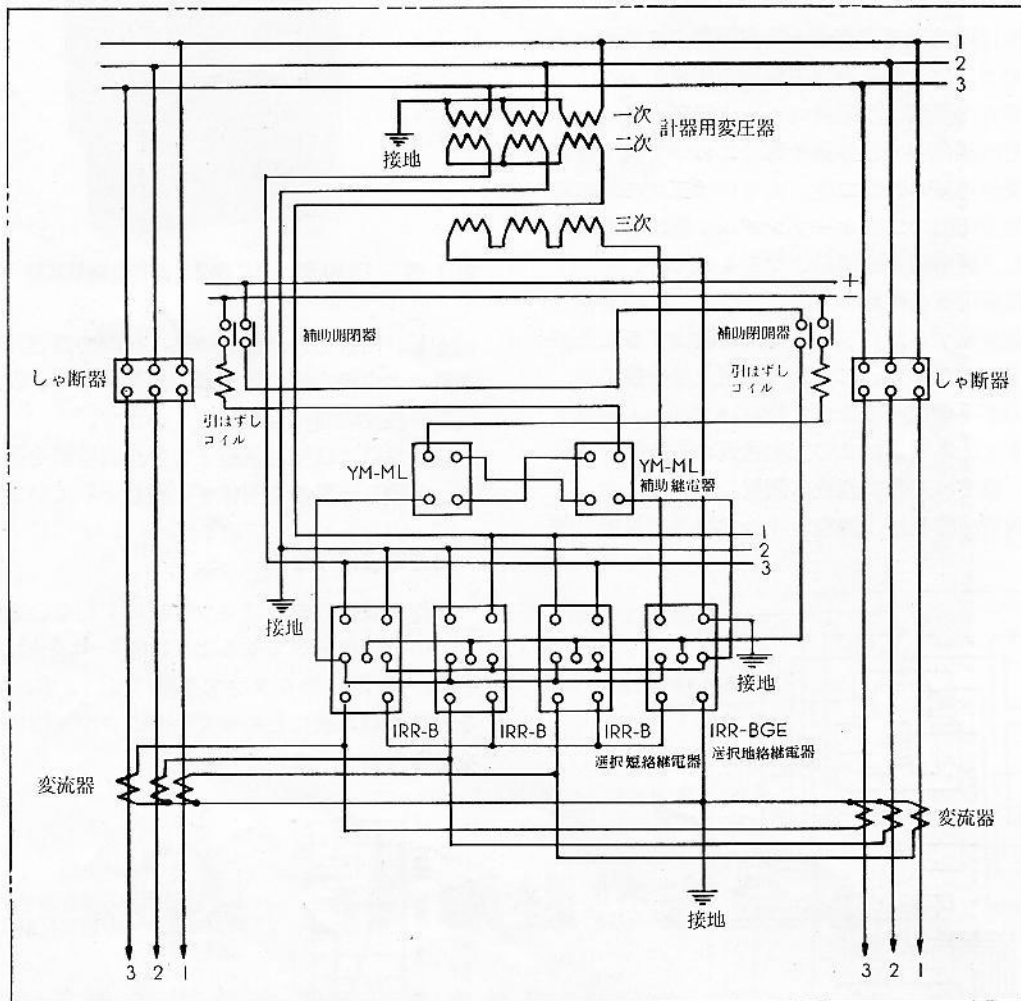
### 時限の整定

銘板の時限特性曲線は、過電流要素における整定電流値のパーセンテージに対する動作時限の変化を表わしています。時限レバーと時限目盛板を備えており、目盛板上には 0～10 の時限等分目盛が施してありますから、動作時限はレバーによつて任意に整定することができます。

### 接点と表示器

方向要素と限時過電流要素のそれぞれの主接点はいずれも純良な銀で作られています。これらの両主接点は直列に接続されているため、補助接触子および動作表示器は、この二要素がともに動作して、引はずし電流が流れたときに動作します。また、いずれの回線の故障かを判別するため、補助接触子と動作表示器は 2 組設けられています。

### 外部接続



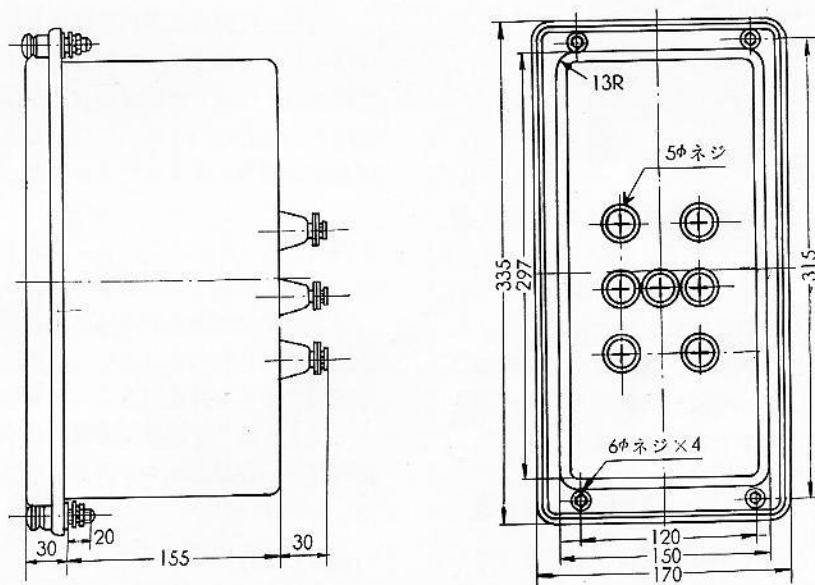
第 4 図 外部接続図 (裏面) (並行回線の短絡地絡保護)

IRR-BGE形誘導形選択地絡継電器標準定格表

形式	定格	電流整定範囲	消費電力	補助接触子表示器	周波数	備考
IRR-BGE	190 V 1 A cont	0.3-0.6-1.0-1.5-2.0-2.5 A	タップ電流にて 0.3 VA 190 Vにて 30 VA	1 A または 2 A	50 ~ または 60 ~	埋込形

- (注) 1. 重量は約 7.0 kg です。  
2. 引出形も標準として製作しています。

外形寸法



第5図 IRR-BGE形継電器外形寸法図(埋込形)

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 形状：埋込形、引出形の別
2. 用途：使用回路（系統の種類）
3. 周波数：50、60～の別
4. 制御回路：しゃ断器の定格  
補助接触子 1、2 A の別
5. その他：標準外の仕様がある場合